

第34期 平成21年度事業報告書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

第1 事業の状況

◇入場者の状況

平成21年度の入場者は、195,383人となり、昨年度に記録した最低記録の214,026人から18,643人減少するという大変厳しい結果となった。減少の要因は、昨年の米国金融危機に端を発した世界不況に加え、円高による日本への旅行者の減少、特に、ウォン安の影響で、韓国客の減少が大きなものとなった。

入館者数の推移

	平成20年度	平成21年度	増減
入場者数	214,026	195,383	▲ 18,643
入場者に占める日本人個人客数	40,907	42,258	1,351
日本人個人客割合	19%	22%	

また、依然として出口の見えない国内経済のデフレ不況下にあつて、追い打ちをかけるように4月には新型インフルエンザの世界流行によつての予約のキャンセルもあり、入場者の減少に歯止めがかからない状況が続いた。

国別入館者数の推移

		平成20年度	平成21年度	増減
日本人	大人(団体)	33,699	26,562	▲ 7,137
	学生(団体)	57,341	60,325	2,984
	大人(個人)	37,339	38,565	1,226
	学生(個人)	3,461	3,693	232
日本人計		131,840	129,145	▲ 2,695
韓国		36,646	34,646	▲ 2,000
シンガポール		20,936	15,708	▲ 5,228
台湾		8,777	2,799	▲ 5,978
マレーシア		4,184	2,067	▲ 2,117
中国		3,439	4,268	829
香港		2,263	504	▲ 1,759
アメリカ		1,316	1,603	287
タイ		1,273	2,531	1,258
その他		3,352	2,112	▲ 1,240
外国人計		82,186	66,238	▲ 15,948

このような中で、一時は17万人台の入場者しか望めない状況であったが、年末の12月から韓国・中国を中心に、アジア圏の観光客の急増により、19万人台の入場者数に回復した。

体験学習の利用状況については、これまでも修学旅行入場者数によつて増減してきたが、21年度の高校修学旅行入場者数は昨年と比べ4,175人(9.4%)の増となり、利用率も1,249人(5.3%)の減にとどまり、昨年と同様に善戦したものと評価できる。

体験学習者数の推移

	平成20年度	平成21年度	増減
学生入館者数	65,026	64,006	▲1,020 (▲1.6%)
体験学習利用者数	23,515	22,266	▲1,249 (▲5%)
利用率	36%	35%	

◇ 財政の状況

平成21年度の一般会計、特別会計を含めた事業収入の総額は、255,166千円で、前年度に比べ4,411千円の増収となった。内訳は、一般会計で2,042千円減収、特別会計で6,454千円の増収となった。

一般会計の収入の内訳は左表の通り、入館者の減少により、公開・体験学習事業で8,842千円の減収となった。この公開・体験学習事業の収入減を補填するため、昨年引き続き、受託事業を積極的に受注し、全減収分を補うとができた。

アメリカ発の世界不況による円高の影響などにより、ここ数年増えつつあった韓国、シンガポール、台湾をはじめとする海外からの入館者も減少の一途をたどる傾向にあることから、今後の財政状況の悪化は免れないと思われる。

この様に事業収入のみで博物館の運営を継続することは限界にきている状況において、白老町はもとより、北海道や国に対し、アイヌ文化のセンター的な役割を担っているアイヌ民族博物館を将来にわたって存続できるよう、あらゆる機会を通して要請していくことが大切であろう。

一般会計収入内訳 (単位：千円)

	平成20年度	平成21年度	増減
公開・体験学習収入	142,382	133,540	▲ 8,842
補助金等収入	11,175	5,800	▲ 5,375
助成金事業収入	7,713	0	▲ 7,713
受託事業収入	46,071	64,735	18,664
その他雑収入	5,491	6,793	1,302
計	212,832	210,868	▲ 1,964

1-1 : 事業人件費

事業経費計 : 59, 040, 513 円

寄附行為第4条に掲げる事業を実施するため、以下の通り職員を雇用した。

(1) 学芸課 副館長1名、正職員3名、嘱託職員2名 計6名(内、学芸員6名)

(2) 伝承課 正職員15名、臨時職員4名 計19名

尚、(1)に対して白老町から以下の補助金を受けた。

・アイヌ文化調査研究等推進事業補助金

対象経費 : 23, 457, 853円(常勤学芸員6名分の年間人件費)

補助金額 : 4, 950, 000円

1-2 : 施設設置・管理事業

事業経費計 : 5, 898, 236 円

寄附行為第4条(1)に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) 博物館施設の設置・管理

・博物館消火栓ホース交換(6月)

・博物館消防設備点検(6月、12月)

(2) 都市公園施設の設置・管理

・白老町設置に係る都市公園「ポロト公園」の一部、約2haの占用許可を受け、公園施設の維持管理を行った。

※ 減免措置の継続により平成15年から年間占用料3, 815, 696円

・ヒグマ、北海道犬の飼育(例年通り)

・有用植物園の整備

・伝承課用事務所設置(5月～9月)

・東屋移設(6月)

1-3 : 学芸事業

事業経費計 : 7, 584, 516円

寄附行為第4条(2)(3)(4)(7)に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) 有形文化財及び関連資料の収集

・アイヌ民族に係る民具資料、記録資料、図書資料等のうち以下の資料を収集した。また、アイヌ民族と関わりのある新聞記事をスクラップ保存し、資料を作成した。

- 美術品資料 河島勝美氏寄贈 1 点：絵画（30 号）
- 図書資料 寄贈図書 402 点（北海道開拓記念館／財団法人アイヌ文化振興研究推進機構他）、
会員配布 36 点

（2）無形文化財の収集・記録・保存

- ・ アイヌの言語、口承文芸、芸能、風俗習慣その他の無形の文化的所産について、記録資料を作成し、
整理保存した。

○ 聞き取り調査事業

ア 「北海道立図書館での資料調査・収集」

実施日：6 月 28 日

調査者：北原次郎太

内容：金田一京助筆録資料口承文芸資料の複製

資料番号 HM4 1 7 春採、阿寒、北見の口承文芸及びアイヌ語

資料番号 HM4 1 9 樺太新聞、魯礼、多蘭泊、北海道旭川の口承文芸及びアイヌ語

イ 「浦川太八の伝承」調査

実施日：7 月 16、17 日

調査者：野本正博、岡田恵介

伝承者：浦河町 浦川太八氏

内容：キハダの内皮を煮詰めたのど飴作り。木工芸の接着剤として利用している植物の加工方法。

○ 記録資料の作成

博物館事業記録：DVD 13 枚

（3）展示公開事業

- ・ アイヌ民族資料を中心に約 800 点を常設展示した。
- ・ 視聴覚展示

○ アイヌの歴史と文化に関するビデオを常時上映した。

ア 「アイヌ生活文化再現マニュアル樹皮衣 織る」（財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構）

イ 「イランカラブテ こんにちはアイヌ文化」（財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構）

- ・ 企画展の開催

○ 「こどもアイヌ語教室作品展」

開催期間：9 月 25 日～10 月 31 日

内容：北海道アイヌ協会主催白老アイヌ語教室で制作した子供たちの手作り絵本を、子供たちが朗
読する DVD 映像と共に展示した。

○ 赤坂友昭写真展「The Myth -神話の記憶-

開催期間：10 月 3 日～11 月 8 日

内容：写真家の赤阪友昭氏が、カナダやアラスカの先住民の神話をテーマに1996年から2006年にかけて撮影した写真を展示した。

○「The Myth」アーティストトーク

開催日：10月3日 参加者：60名

講演者：赤阪友昭氏

内容：スライドを上映しながら、写真を撮り始めたきっかけ、これまでの取材先や現地での体験や、北米先住民の語り部による創世神話やクマの親子に出会ったときの話などが語られた。

○講演会「ぼくは猟師になった」

開催日：10月17日 参加者：60名

講演者：千松信也

内容：猟師である千松氏が、狩猟活動や野生鳥獣の利活用を、狩猟道具や写真を用いながら説明し、また現代における狩猟の意義や役割についても語られた。

○「アコラシノッ（アイヌの芸能）」

開催期間：11月28日～1月24日

内容：アイヌ古式舞踊が国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産リストに記載されたことを受け、舞踊が描かれているアイヌ絵、ムックリ、舞踊に使用する弓矢や刀などを展示し、舞踊公演の映像を流しながらアイヌ民族の芸能の現状について紹介した。

○「タマサイ～連なるかたち・連なる想い」

開催期間：1月31日～3月22日

内容：当館所蔵のタマサイ（首飾り）等、約100点の資料を展示し、タマサイが持つ呪術的な意味や用途、美しさの他、ガラス玉や調度品などの素材は中国や本州から手に入れるなど、国際色豊かな交易をしていたことを交えて紹介した。

（4）調査研究事業

ア 共同研究

○平成21年度国立民族学博物館「捕鯨文化に関する文化人類学研究」

期間：4月1日～3月31日

共同研究員：野本正博

○平成21年度国立民族学博物館「アイヌ語を中心とする国立民族学博物館所蔵北方言語音声資料の分析」

期間：4月1日～3月31日

共同研究員：北原次郎太

○平成21年度国立民族学博物館共同研究「アイヌ語を中心とする国立民族学博物館所蔵北方諸言語音声資料の分析」

日程：2月25、26日、6月4、5日

共同研究員；北原次郎太

- 平成21年度国立民族学博物館共同研究「博物館におけるアイヌ民族とその文化の展示のあり方の再検討」

日程：12月6日、2月27、28日

- 平成21年度国立歴史民俗博物館共同研究「地域開発における文化の保存と利用」

期間：6月21、22日

共同研究員：野本正博

- 国立歴史民俗博物館第4室リニューアル委員会会議

日程：6月19日、7月10、11日、10月9～12日、2月6日

会議出席者：野本正博

- 文化庁「アイヌ文化に関する研究の推進・連携等体制構築の検討事業」会議

期間：6月1日～3月31日

会議出席者：野本正博

- アイヌ文化に関する研究の推進・連携等体制構築事業会議

期間：7月23日、9月9日、3月2日、16日

会議出席者：野本正博、村木美幸、北原次郎太

- 科研プロジェクト「大学博物館所蔵古写真の現代的意義に関する研究」研究協力

期間：2009年4月1日～2011年3月31日

今年度日程：8月19日、2月2日～3日

共同研究員：北原次郎太

- 北海道大学アイヌ・先住民研究センター「博物館プロジェクト」研究会

日程：3月1日

共同研究員：北原次郎太

イ 協力事業

- 北海道開拓記念館「知里真志保とこの100年」への講師派遣

日程：5月17日

講師：北原次郎太

- 北海道開拓記念館・アイヌ民族博物館公開講座（道民カレッジ連携講座）

「北海道観光イメージの形成史を考える」開催

日程：3月6日

報告者：野本正博

場所：映像展示室

ウ 執筆協力

○国立民族学博物館『月刊みんぱく』2009年8月号「持論・新論・理想論」執筆

執筆者：北原次郎太

○道立文学館企画展「語り、継ぐ。 - アイヌ口承文芸の世界」展示図録執筆

執筆者：北原次郎太

エ 社団法人北海道アイヌ協会への協力

○白老アイヌ語教室

日程：7月31日、8月2日、4日、8月7日、8日、9日、9月12日、1月10日、16日
17日、23日、24日、30日、2月6日

開催回数：14回 受講者数：89人（のべ162人）

講師：北原次郎太

場所：アイヌ民族博物館他

○アイヌ協会江別支部学習会講師派遣

日程：11月14日

派遣講師：北原次郎太

場所：江別市

○アイヌ語指導者研修会講師派遣

日程：10月17日、18日

派遣講師：北原次郎太

場所：登別市

○北海道アイヌ協会登別支部「舞踊講座」講師派遣

日程：12月2日

派遣講師：村木美幸

場所：登別市

オ 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構への協力

○アイヌ生活文化再現マニュアル企画委員会

期間：5月1日～3月31日

出席者：野本正博

○アイヌの伝統的生活空間の再生事業検討会議

日程：8月6日、12月9日、2月4日、3月8日

出席者：野本正博

場所：札幌市

○祭壇製作

納期：3月31日

納品先：アイヌ文化交流センター

製作者：野本正博

○平成21年度アイヌ工芸品展の展示協力並びに開会式出席

日程：9月14日～17日

開会式9月17日（帯広百年記念館）、9月18日（北海道立帯広美術館）

日程：11月18日～22日

開会式11月22日（京都文化博物館）

協力・出席者：野本正博

○平成22年度アイヌ工芸品展第一回企画委員会

日程：3月30日

出席者：野本正博

場所：札幌市

○「学校教育におけるアイヌ文化に関する講習会」発表者派遣

日程：1月7日

発表者：野本正博

場所：札幌市

○アイヌ語指導者育成事業講師派遣

期間：5月1日～3月31日

派遣講師：北原次郎太

○アイヌ語指導者育成事業

講師会日程：9月17日、3月19日

スクーリング日程：10月10日～12日、10月30日～11月1日、12月4日～6日

派遣講師：北原次郎太

場所：札幌市

○アイヌ語教育検討委員会

日程：5月11日

出席者：北原次郎太

○北海道アイヌ協会主催「アイヌ文化フェスティバル2009」東京会場における口承文芸口演者派遣

日程：10月24日

派遣者：北原次郎太

場所：東京都

カ その他

○ラジオNHK 国際放送取材協力

番組名：ラジオジャパンフォーカス木「日本新発見 日本の先住民族アイヌを知りたい」

取材日：6月12日、13日

協力者：石田慈久恵、山田真由美、北原次郎太

- アイヌ文化振興研究推進機構平成21年度2次募集「研究助成」申請のための推薦依頼協力

依頼者：千葉伸彦

研究テーマ：阿寒の歌の研究

- 新ひだか町教育委員会主催シャクシャイン没後340年記念特別展『アイヌ民具資料展―帰ってきたアイヌ民具たち』への後援及び資料貸出し

貸出資料：酒棒篋13点、篋1点、呪い用首飾り2点

開催期間：7月14日～9月27日

開催場所：新ひだか町地域交流センターピュアプラザ「町民ギャラリー」

- 韓国テレビ制作会社「DKメディア」ドキュメンタリー「アイヌ音楽」の撮影協力

撮影日：7月1日、8月23日～25日

対応：北原次郎太

- 株式会社HBCメディアクリエート「ねんりんピック北海道・札幌2009」画像素材の提供協力

- 内閣府「児玉コレクション」情報調査協力

日程：8月20日

対応：村木美幸

- 国立民族学博物館平成21年度博物館学集中コース見学研修受け入れ

日程：10月23日

対応：野本正博

- ホクレン農業共同組合連合会発行PR誌『グリーン』への撮影協力

撮影日：9月7日

対応：村木美幸

- 第24回北方民族文化シンポジウム「現代社会と先住民文化①―観光、芸術から考える―」

日程：10月17日、18日

発表者：村木美幸

場所：網走市

- 平成21年度第1回北海道食育コーディネーター会議出席

日程：9月18日

出席者：村木美幸

場所：札幌市

- 平成21年度北海道大学非常勤講師

期間：10月1日～3月31日

講師：野本正博

科目名：「ヒグマ学入門―イオマンテについて―」

- 北海道新聞社メディア局コタンノミ撮影
撮影日：10月31日
- 国土交通省「アイヌの伝統等に関する総合情報分析調査」
期間：9月16日～3月5日
- 北海道立アイヌ民族文化研究センター所内研修講師派遣
日程：12月1日
講師：北原次郎太
場所：北海道立アイヌ民族文化研究センター
- 「氷海の民シンポジウム」
日程：2月22日
講演者：北原次郎太
- 苫小牧市主催「アイヌ料理教室」
日程：3月14日
講師：村木美幸
場所：苫小牧市
- 社団法人北海道観光振興機構主催「アイヌ文化研修会」
日程：1月22日
講師：村木美幸
場所：函館市
- 苫小牧市博物館主催「博物館大学講座」
日程：2月6日
講師：村木美幸
講座名 「アイヌの植物利用について」
場所：苫小牧市
- 第56回日本栄養改善学会学術総会での講演
日程：9月4日
講師：村木美幸
場所：札幌市
- 第48回北海道博物館大会
日程：6月4日、5日
出席者：村木美幸
場所：富良野市
- 平成21年度日胆地区博物館等連絡協議会館長会議及び拡大役員会
日程：3月3日
出席者：村木美幸

場所：苫小牧市博物館

○平成21年度社団法人北海道観光振興機構アイヌ文化部会及びワーキング会議

日程：7月21日

出席者：村木美幸

場所：札幌市

○博物館実習生受け入れ

期間：8月31日～9月7日（実質7日間）

内容：各大学からの要請により、学生計3名を実習のため受け入れた。

（苫小牧駒澤大学1名／北海道文教大学1名／専修大学1名）

○平成21年度第1回小学校社会科副読本研修委員会

日程：5月25日

出席者：村木美幸

場所：白老町

○平成21年度白老文化財等運営審議会

日程：2月23日

出席者：村木美幸

場所：白老町

○特定非営利活動法人 知里森舎「知里幸恵フォーラム09in登別」

日程：9月19日

派遣者：北原次郎太

内容：カムイユカラ口演・解説

場所：登別市

○第13回アイヌ語弁論大会「イタカンロー アイヌ語で話しましょう！」

日程：11月7日

出席者：北原次郎太

場所：札幌市

○平成21年度日胆地区博物館等連絡協議会研修会

日程：9月17日、18日

出席者：村木美幸

場所：登別市

1-4：普及事業

事業経費計：6,844,675円

寄附行為第4条（4）に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) アイヌ文化体験学習

- ・ ムックリ演奏・製作、アイヌ文様刺繍・彫刻、アイヌ伝統料理試食、トンコリ演奏体験、アイヌ古式舞踊体験、イペパスイ体験等の各種体験学習を実施し、学校団体を中心にのべ22,266人（前年度比▲5.3%）が利用した。

(2) アイヌ文化講演会（学芸員講話）

- ・ 学校団体等の要望に応じて、アイヌの歴史と文化等を内容とする学芸員講話を実施した。

(ア) 学芸員講話 39回

(イ) 出張学芸員講話 8回

(3) 学習室の設置・運営

- ・ 博物館旧館に、図書資料、視聴覚資料等を利用可能な学習室を常設し、来館者が利用できるように対応した。

(4) 博物館ボランティア

- ・ 前年に引き続き希望者5名を登録し、職員と連携しながら入館者への解説、案内、体験学習指導等の活動を行った。

(ア) 登録者：長谷川繁美／筒井達雄／芳徳尚／伊藤定幸／中村齋

(イ) のべ日数：370日

(5) インターネット事業

- ・ ホームページを運営し、常時アクセス可能とした。

(ア) ホームページアドレス：<http://www.ainu-museum.or.jp>

(イ) 訪問者数：のべ 1,598,256件（2000年7月1日～2010年3月31日）

年間 168,000件（2009年4月1日～2010年3月31日）

(6) コタンメールの発行

- ・ コタンメールを発行し、町内を中心に配布した。

(ア) 発行号：42号（4月1日発行）～52号（3月15日発行）

(イ) 部数：各号300～1500部

(ウ) 配布先：JR白老駅、白老元陣屋資料館、イオル事務所チキサニ、町内会回覧板他

1-5：伝承公開事業

事業経費計：20,289,842円

寄附行為第4条（5）（6）に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) 国指定重要無形民俗文化財アイヌ古式舞踊の公開

- ・ 定時公演

○ 入場者に対し、アイヌ文化に関する解説と古式舞踊（お話・踊り）の公開を実施した。

ア 古式舞踊公演：年間3,159回（平均8.8回/日）

対応職員：山丸郁夫/野本三治/竹内章吾/高橋志保子/倉部テル子/石田慈久恵/久保紀子/山田真由美/田下千代子/渡邊はるみ/中村幸子/山内久美子/伊藤里美/土崎雪子/山本スナ子/三上真沙美/中野巴絵/河岸麗子/熊谷由布子/今野美帆/本間詩穂/山本あゆみ

イ アイヌ文化解説：年間3,330回（平均9.3回/日）

対応職員：山丸郁夫/野本三治/竹内章吾

・ 夜間公演「ポロトコタンの夜」

○ 7年目に当たる当年は、計8日間の公演で、札幌からの食事付きバスツアーの催行や、食事付きプラン等を実施した。

主催：ポロトコタンの夜実行委員会/北海道新聞社苫小牧支社

日程：7月24日、25日、31日、8月1日、7日、8日、14日、15日

時間：開場 18時30分 博物館内解説 18時40分～19時15分

公演 19時30分～20時15分

入場者：719人（平均89.87人/日）

・ 派遣公演等

○ 館外からの要請により、以下の通り派遣公演を実施した。

ア 4月16日 「第32回地方自治研究集会全国大会」 古式舞踊公演 札幌市 11名

イ 5月14日～16日 「羽田空港国内観光振興プロモーション」 古式舞踊公演 東京都 2名

ウ 6月4、18、7月2、16、8月4、11、9月11、25、10月10、23日

「登別第一滝本館151年感謝祭」 古式舞踊公演 登別市 各10名

エ 7月3日 「縄文サミットinとうや湖」 ムックリ・トンコリ演奏 洞爺湖町 4名

オ 7月9日 「日本コンクリート工学年次大会」 古式舞踊公演 札幌市 10名

カ 7月12日 「すすきの四番街まつり」 古式舞踊公演 札幌市 6名

キ 7月22日 「ふるさと北海道応援企画」 古式舞踊公演 札幌市 10名

ク 8月21日 NHK公開番組「それ行け、民謡うた祭り」 古式舞踊公演 伊達市 10名

ケ 8月23日 「しらおい笑顔まつり」 古式舞踊公演 白老町

コ 8月26日～30日 「中国瀋陽旅遊祭」 古式舞踊公演 中華人民共和国瀋陽市、上海市 12名

サ 9月7日 「元気町白老・健康麻雀交流大会」 古式舞踊公演 白老町

シ 9月13日 「杜の賑い・北海道」 古式舞踊公演 札幌市 14名

ス 9月26日 「さっぽろオータムフェスト2009」 古式舞踊公演 札幌市 11名

セ 10月7日 「全国バス事業者大会」 古式舞踊公演 札幌市 10名

ソ 10月10日 「しらおいアイヌ文化フェスティバル」 古式舞踊公演 白老町

- タ 11月18日 「半導体製造技術・ナノテクノロジー国際会議」 古式舞踊公演 札幌市 10名
 チ 2月7日 「伊達雪祭り冬の陣」 古式舞踊公演 伊達市 7名
 ツ 2月14日 ヒルトンホテル 古式舞踊公演 ニセコ町 3名
 テ 3月20日～22日「北海道FESTAINパナソニックセンター」 古式舞踊公演 東京都 6名

(2) 伝統工芸の保存伝承

- ・ポンチセを拠点として本格的な工芸作品の製作に取り組むと同時に、製作の実演公開を行った。また、当館伝承課のOGを中心に伝承ボランティアを組織し協力を受けた。

- ・職員を中心に祭具等を製作・復元した。

- 山丸郁夫：儀礼用イナウ（木幣）、祭具複数点
- 新井田幹夫：儀礼用イナウ（木幣）、祭具複数点
- 野本三治：儀礼用イナウ（木幣）、サパンペ（冠）
- 伊藤里美：ポンキナ（模様）2点
- 田下千代子：エムシアツ各1点
- 石田慈久恵：ルウンペ1点
- 山田真由美：タラ（背負い紐）1点、エムシアツ1点
- 山内久美子：樺太着物1点、ルウンペ2点
- 河岸麗子：エムシアツ1点、アットウシ着物1点、キナ（模様）1点
- 中野巴絵：タラ（背負い紐）1点、エムシアツ1点

(3) 伝統儀式の伝承

- ・儀式伝承及びアイヌの精神文化について理解を深めるため、以下の儀式を実施した。

- チュプカムイノミ（月例の安全祈願）

開催日：4月1日／6月1日／7月1日／8月1日／9月1日／10月1日／11月1日／12月7日／1月6日／2月1日／3月1日

- チセノミ（地鎮祭）

開催日：4月18日

- 春のコタンノミ（集落の祭り）／チプサンケ（舟下ろし）

開催日：5月2日

- シンヌラッパ・シリカプ（先祖供養祭）

開催日：8月17日

- ペツカムイノミ（秋鮭を迎える儀式）

開催日：9月5日

- 秋のコタンノミ（集落の祭り）

開催日：10月31日

(4) 伝承ボランティア

- ・定年退職者や町内工芸家7名にボランティアを委託し、5月～10月の期間、ポンチセ、ポロチセな

どで手工芸品制作の実演を行った。

伝承ボランティア：野本リヨ／下河ヤエ／山崎シマ子／石井シゲ／出町紀子／村田岩子／田村弘子

のべ日数：計440日

1-6：広報・渉外事業

事業経費計：3,324,687円

寄附行為第4条（9）に掲げる事業は以下の通り実施した。

（1）宣伝誘客

- ・平成21年度は白老町や白老観光協会など他の機関と協力のもと、道内、道外、海外の旅行業者、学校団体等への宣伝誘客活動を行った。

○6月1日～5日 関東誘客活動（東京都） 岡田恵介

○9月1日～4日 登別・白老連絡協議会関西誘客活動（広島県、岡山県、香川県、徳島県）

岡田恵介

○9月27日～10月2日 関西誘客活動（大阪府） 岡田恵介

○9月29日～10月1日 西胆振修学旅行誘致プロモーション（東京都、横浜市） 村木美幸

○10月8日、9日 白老観光協会主催道内誘客活動（帯広市） 岡田恵介

○11月10日～12日 2009北海道道央圏教育旅行説明会（大阪市） 岡田恵介

○11月21日～20日 白老観光協会共同誘客活動（東京都） 岡田恵介

○11月27日～12月4日 西いぶり戦略的観光推進協議会主催 北海道プロモーション（タイ・マレーシア） 山丸郁夫、野本三治

○1月26日～29日 関東誘客（東京都、茨城県） 岡田恵介

○3月2日～5日 パナソニックセンターイベント誘客活動（東京都） 岡田恵介

1-7：イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業（財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構受託事業）

事業経費計：8,373,808円

寄附行為第4条（6）（7）に掲げる事業は以下の通り実施した。

（1）植物等栽培事業

- ・イオル再生事業の一環として、森野旧苗畑地区で行う穀物等の栽培について、平成18年度、平成19年度、平成20年度に植栽した穀物等の育成状況を記録観察する等、定期的な管理育成業務を行った。

- 実施場所：森野旧苗畑地区
- 育成管理員：新井田幹夫
- 期間：4月2日～3月31日
- 業務内容：
 - ア 穀物試験栽培：アワ、ヒエ、イナキビを栽培した。
 - イ 苗木試験栽培：平成18、19、20年度に実施した移植苗木の成長記録を取るとともに、苗木の補植等を行い、自然素材の安定的確保を図った。
 - ウ 有用薬用植物試験栽培：10種類程度の有用植物を山採りし、試験栽培を実施し種子の採取や生育物の利活用を図った。
 - エ 海浜植物試験栽培：20年度に種子から栽培したハマボウフウの生育状況や植生環境等のデータを取り、自然素材の安定的確保、活用を図った。
 - オ 保護観察、定期巡視観察：自然災害やエゾシカ等による食害等を未然に防ぐため、定期的な巡視を行った。

1-8：イオル伝承者育成事業(財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構受託事業)

事業経費計：20,338,647円

寄附行為第4条(6)(7)に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) 伝承者育成事業

- ・アイヌ文化の伝承者が高齢化し、伝承活動が減少している現状において、アイヌ民族、文化に関する総合的な知識や技術・技能を身につける伝承者の育成が必要不可欠である。そのためアイヌ文化を根底から支える総合的な人材(伝承者)育成を目的として、講義、実習、研修を実施した。

○期間：4月1日～3月31日

○受講者数：8人

○受講日数：247日

○外部講師：芳徳尚／酒井奈々子(帯広カムイトーウポポ保存会会長)／川田美奈(帯広カムイトーウポポ保存会)／安田千夏／窪田文子(めむの会)／藪中剛司(新ひだか町静内郷土館学芸員)

○内部講師：村木美幸／木田瑞恵／北原次郎太／野本正博／河岸麗子／山丸郁夫／中村幸子／中野巴絵

1-9：ポロト地区公衆トイレ管理業務(白老町受託事業)

事業経費計：1,518,786円

寄附行為第4条(1)(9)に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) 人件費

- ・ 臨時職員 2 名（交代勤務）を雇用した。

1-10 : ふるさと雇用再生特別対策推進事業

事業経費計 :12, 353, 466 円

寄附行為第 4 条（6）（7）に掲げる事業は以下の通りとした。

- (1) 博物館の入館者や近隣の温泉施設に宿泊の生徒児童に対する出前講座を実施した。
- (2) アイヌ古式舞踊「国の無形文化遺産」の伝承者、実演者の養成と配置を実施した。
- (3) アイヌ伝統工芸「刺繍・ゴザ編み」の技術者の養成と配置を実施した。
- (4) アイヌ民族伝統保存食の調査・研究を基に伝統食の開発を実施した。
- (5) 胆振管内教職員に対する指導者研修事業を実施した。

1-11 : 地方の元気再生事業

事業経費計 :8, 380, 485 円

寄附行為第 4 条（6）（7）に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) 古式舞踊等の演目復元

- ・ 保存されている映像や音声などの資料から、古式舞踊の演目を復元した。

○実施日：7月25、26日、9月19、20、21日、10月4、5、9、10日

(2) ガイドパンフレット・アイヌ語地名マップ監修

- ・ 地方の元気再生事業において作成したパンフレット、並びにアイヌ語地名マップの専門的知見による監修を行った。

(3) 移動博物館監修

- ・ 移動博物館で行う演目等の監修を行った。

(4) 移動博物館、特別体験学習

- ・ 各地方で実施した移動博物館、特別体験学習において、古式舞踊や体験プログラム、伝統工芸等の紹介を行った。

○実施日：9月26日 会場：札幌オータムフェストイベントステージ

内容：アイヌ古式舞踊

○実施日：12月9日 会場：札幌プリンスホテル

内容：アイヌ古式舞踊、教育プログラムの紹介、工芸品展示

(アイヌ民族博物館フェア in 札幌)

○実施日：1月11日 会場：函館市総合福祉センター

内容：アイヌ古式舞踊、ワークショップ、文化展示、教育プログラムの紹介

(アイヌみんぱくフェア in はこだて)

○実施日：1月26日 会場：ニセコ高原ホテル

内容：アイヌ古式舞踊

(白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ)

(5) 特別体験学習受入

- ・小学生を対象に、古式舞踊や体験プログラムを実施した。

○実施日：10月30日 対象校：室蘭市立白鳥台小学校 対象人数：39名

内容：ムックリ製作体験、ワークシート、伝統料理

○実施日：11月9日 対象校：洞爺湖町立とうや小学校 対象人数：23名

内容：ムックリ製作体験、ワークシート、伝統料理

○実施日：12月18日 対象校：室蘭市立水元小学校 対象人数：55名

内容：ムックリ製作体験、ワークシート、伝統料理

○実施日：1月28日 対象校：室蘭市立天沢小学校 対象人数：92名

内容：ムックリ製作体験、ワークシート

(6) 博物館特別展の検証

- ・専門家の招聘等により、博物館特別展開催に向けた検証を行った。

○赤坂友昭写真展「The Myth -神話の記憶-

開催期間：10月3日～11月8日

○「The Myth -神話の記憶-」アーティストトーク

開催日：10月3日

○「アコラシノッ (アイヌの芸能)」

開催期間：11月28日～1月24日

○「タマサイ～連なるかたち・連なる想い」

開催期間：1月31日～3月22日

※特別展詳細は学芸事業に掲載。

(7) 博物館内展示の多言語化

- ・博物館内キャプション等の多言語化（日本語、英語、中国語、韓国語）を行った。

(8) 展示解説ブックレット（多言語化）の作成

- ・博物館展示解説ブックレットを多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）で製作した。

○「先住民アイヌ民族」：日本語50,000部、英語10,000部、中国簡体字10,000部、
中国繁体字10,000部、韓国語20,000部

(9) 誘客キャンペーンの実施

- ・ 入場者数増加に向けて、JR駅構内や商業施設等集客のある施設において、パンフレットの配布等により誘客キャンペーンを行った。

1-12：イオル体験指導員育成事業(財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構受託事業)

事業経費計 :1, 813, 230 円

寄附行為第4条(6)(7)に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) 体験指導員育成事業

- ・ アイヌの伝統や文化に対する理解を促進するため、伝統的生活空間を活用した体験交流事業の実施に向けて、専門的知識を有する指導員を養成するための講習及び実習を実施した。

○期間：10月22日～3月31日

○講習内容：

第1回

開催日：11月1日 会場：北海道大学高等教育機能開発総合センター大講堂

内容：アイヌ語弁論大会(イタカンロー)見学

第2回

開催日：11月14日 会場：映像展示室

内容：開講式

「アイヌ口承文芸にみる植物の神格について」 講師：安田千夏

「アイヌの芸能について」 講師：村木美幸

「ムックリ製作・演奏」 講師：村木美幸

第3回

開催日：11月21日 会場：映像展示室

内容：「アイヌの衣文化」 講師 村木美幸

「アイヌの精神文化」 講師 北原次郎太

「アイヌ語の基礎」 講師 北原次郎太

第4回

開催日：11月22日 会場：映像展示室

内容：「アイヌの歴史1 近世まで」 講師 北原次郎太

「植物観察会」 講師 安田千夏氏

「アイヌ語の基礎2」 講師 北原次郎太

第5回

開催日：12月5日 会場：ポロチセ、映像展示室

内容：「キナ編み」
講師：河岸麗子／伊藤里美／中野巴絵
／木田瑞恵

「アイヌ語の単語復習」

講師：木田瑞恵

第6回

開催日：12月12日 会場：映像展示室

内容：「アイヌ語」

講師：北原次郎太

「アイヌの歴史2 近代」

講師：北原次郎太

第7回

開催日：12月19日 会場：映像展示室、野外

内容：「住まう」

講師：野本正博

「チセ造り～サクマ材アオダモの皮むき」

第8回

開催日：12月20日 会場：野外

内容：「チセ造り～サクマ材アオダモの皮むき」

講師：野本正博

第9回

開催日：12月20日 会場：野外

内容：「チセ造り～サクマ材アオダモの皮むき」

講師：野本正博

第10回

開催日：1月23日 会場：体験学習館

内容：「手工芸（イカラカラ）」

講師：河岸麗子／石田慈久恵／山田真由美
／本間詩穂

第11回

開催日：2月13日 会場：映像展示室

内容：「タラ編み体験～タリペの製作～」

講師：木村君由美

「アイヌ語～平叙文・疑問文・否定文・ウポポの学習～」

講師：川村このみ

第12回

開催日：2月14日 会場：映像展示室

内容：「アイヌ有用植物ハンノキの利用について」

講師：八幡一巖

「アイヌ口承文芸」

講師：山田美郷

「タラ編み体験～縄部分の製作～」

講師：木村君由美

閉講式

1-13 : イオルチセ建設等事業(財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構受託事業)

事業経費計 :12, 000, 000 円

寄附行為第4条(6)(7)に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) チセ建設事業

- ・ 白老ポロト地区において、アイヌの人びとの自然観に根ざした工芸技術や自然と共生していたアイヌの人びとの知恵を学習するため、長老等の意見や調査研究に裏付けられたコタンの再現計画に基づくチセの復元などを行った。

○期間 11月5日～3月31日

○業務内容

- ア チセ建設に係る部材の調達
- イ チセ建設(2棟)

1-14 : カヤの分布調査事業(財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構受託事業)

事業経費計 :798, 000 円

寄附行為第4条(6)(7)に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) カヤの分布調査

- ・ アイヌの伝統的家屋であるチセの維持管理や、工芸技術等の伝承活動に必要な自然素材を活用できるようにするため、カヤの分布状況を調査した。

○調査日 : 3月12日 3月17日、18日

○調査地 : 伊達市、豊浦町、長万部町、黒松内町

○調査者 : 野本正博/立石信一

2 : 管理費

事業経費計 :35, 876, 676 円

寄附行為第4条(1)(9)に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) 人件費

- ・ 役員及び総務課職員人件費を計上した。

(ア) 役員3名

(イ) 嘱託職員 1 名、正職員 6 名、定期職員 1 名、臨時職員 2 名を雇用した。

(2) その他管理費

- ・ 会議費、水道光熱費、保険料、事務費、消耗品費等、当館の管理に必要な経費を計上した。

3：物品販売事業(特別会計事業)

事業経費計 :34, 080, 784 円

寄附行為第 4 条 (1) (9) に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) 人件費

- ・ 正職員 1 名、臨時職員 4 名を雇用した。

(2) 図書販売事業

- ・ ミュージアムショップ等において、当館の刊行図書をはじめ、アイヌ民族関係図書を販売した。

(3) 商品販売事業

- ・ ミュージアムショップ等において、アイヌ民族の伝統的手工芸品をはじめ、ミュージアムグッズ、白老の工芸家の作品等を販売した。

(4) 飲食品販売事業

- ・ ミュージアムカフェリムセを新設、通年営業することにより、博物館利用者の一層の便益を図った。
- ・ ミュージアムカフェにおいてアイヌの伝統的な飲食品を販売し、食文化の理解を図るとともに、軽食等の販売によって利用者の便益を図った。

(5) 貸衣装事業

- ・ アイヌの伝統衣装等を、利用者の要望に応じて有料にて貸与した。

4：駐車場管理事業(特別会計事業)

事業経費計 :5, 559, 423 円

寄附行為第 4 条 (1) (9) に掲げる事業は以下の通り実施した。

(1) 人件費

- ・ 臨時職員 2 名を雇用した。

第2 処務の概要（平成22年3月31日現在）

1 役員等に関する事項

(1) 就任状況等

役名	氏名	当初就任年月日	就任年月日	職務	手当	職業（業種）	備考
理事	野本勝信	H8.10.9	H20.10.9～ H22.10.8	理事長	80,000	会社役員	H14.10.9 理事長就任
	野村茂樹	H13.11.19	〃	専務理事	80,000	無職	H14.10.9 専務就任
	牧野正典	H17.3.26	〃	常務理事	150,000	団体役員	H20.10.9 常務就任
	中村政信	H10.10.9	〃			漁業	
	加藤忠	H6.10.9	〃			団体役員	
	上野正信	H14.2.13	〃			漁業	
	壬生龍之介	〃	〃			団体役員	
	中出正	H14.5.31	〃			団体役員	
	小川利孝	H14.5.30	〃			無職	
	長谷川邦彦	H14.10.9	〃			自営業	
監事	中山繁	H4.10.9	H21.6.5～ H23.6.4			自営業	
	太田實	H17.3.26	〃			無職	
評議員	伊東稔	S52.11.1	H20.11.1～ H22.10.31			無職	
	田中幹夫	H14.2.7	〃			漁業	
	森竹春次郎	H14.5.30	〃			会社員	
	笠谷弘志	H14.10.4	〃			会社役員	
	田村文一	〃	〃			無職	
	塚見紀雄	〃	〃			会社役員	
	畑中雅幸	〃	〃			無職	
	平野弘	〃	〃			会社役員	
	岩間隆一	H16.11.1	〃			無職	
	筒井達雄	H17.3.26	〃			無職	
	木村安博	H20.11.18	H20.11.18～ H22.10.31			会社役員	
	前田博之	H21.2.17	H21.2.17～ H22.10.31			町議会議員	
	花岡ケイ子	〃	〃			無職	

(2) 同一の親族（3親等以内の親族及びこの者と特別の関係にある者）である理事
なし。

(3) 同一の親族（3親等以内の親族及びこの者と特別の関係にある者）である評議員
なし。

2 職員に関する事項

(1) 主な職員

職名	氏名	採用年月日	発令年月日	備考
事務局長	吉田 稔	H20. 4. 1	H20. 4. 1	嘱託職員
副館長	村木美幸	S62. 7. 1	H21. 4. 1	
伝承課伝承課長	山丸郁夫	H 9. 5. 1	H21. 4. 1	
学芸課学芸課長	野本正博	H 9. 5. 1	H21. 4. 1	
主幹・伝承専門員	新井田幹夫	S57. 2. 1	H15. 4. 1	
伝承課伝承係長	野本三治	H 7. 6.12	H21. 4. 1	
伝承課事業普及係長	岡田恵介	H 5. 4. 1	H21. 4. 1	
総務課総務係長	上河由紀	H12. 4. 1	H14. 4. 1	
総務課管理係長	吉田 賢	H19. 4. 1	H21. 4. 1	

(2) 職員数

常勤職員数	26名
定期職員数	3名
臨時職員数	15名
嘱託職員数	1名
合計職員数	45名

<p>第4回評議員会 平成22年3月25日(木) 10:00~11:56</p>	<p>1. 第34期平成21年度第二次事業計画の変更(案)について 2. 第34期平成21年度第二次収支予算書の変更(案)について 3. 第35期平成22年度事業計画書(案)について 4. 第35期平成22年度収支予算書(案)について 5. 就業規則の一部変更について 6. 給与規程の一部変更について 7. 旅費規程の一部変更について 報告1. 平成21年度入場者数実績(2月末現在)について</p>	<p>1. 全員異議なく可決 2. 〃 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 (欠席者なし)</p>
--	---	--

4 監査に関する事項

監査実施日	監査事項
<p>第1回 平成21年5月19日(火)</p>	<p>平成20年度決算監査及び月例監査(平成21年1月から3月支出伝票等)</p>
<p>第2回 平成21年7月28日(火)</p>	<p>月例監査(平成21年4月から6月分伝票等)</p>
<p>第3回 平成21年10月20日(火)</p>	<p>月例監査(平成21年7月から9月分伝票等)</p>
<p>第4回 平成22年1月26日(火)</p>	<p>月例監査(平成21年10月から12月分伝票等)</p>

5 許可、認可及び承認に関する事項

許可、認可及び承認年月日	許可、認可、承認事項	備考
平成21年4月20日	体験学習館（仮設構築物等）設置 許可	平成13年度より 年間120,000円
平成21年6月29日	河川（堤防敷地）占用（工作物） 許可 社台川水系 支流ウツナイ川	イオル再生事業（チセ）管理の ため 平成21年6月29日から 平成26年3月31日まで 無償

6 契約に関する事項

契約日	契約事項	契約（実績）金額	契約先	概要
平成21年 4月1日	ポロト地区公衆 トイレ管理業務 委託	1,428,840円	白老町	
4月1日	平成21年度アイヌの伝統的 生活空間の再生事 業に関する伝承 者育成事業業務	20,338,647円	財団法人アイ ヌ文化振興・研 究推進機構	
4月1日	ふるさと雇用再 生特別対策推進 事業補助金交付 要領に基づくア イヌ文化の保存、 伝承、調査研究業 務	12,135,676円	白老町	
4月2日	平成21年度アイヌの伝統的 生活空間の再生事 業に関する試験 栽培等業務	8,373,808円	財団法人アイ ヌ文化振興・研 究推進機構	
4月7日	学校給食残飯売 り払い	1,000円	白老町教育委 員会	熊餌
6月26日	アイヌ文化を学 ぶふるさと学習 事業業務委託	408,200円	白老町教育委 員会	

7月22日	アイヌ文化魅力向上・発信業務	7,882,000円	白老町	地方の元気再生事業
10月1日	日世フリーザー賃貸	0円	日世株式会社	ソフトクリーム機器修理代金有償
10月22日	平成21年度アイヌの伝統的生活空間の再生事業に係る体験交流事業指導者育成業務	1,813,230円	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	
11月5日	平成21年度アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関するチセ建設等業務	12,000,000円	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	
平成22年 1月12日	平成21年度アイヌの伝統的生活空間の再生事業に係るカヤの分布調査業務	798,000円	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	

7 寄附金に関する事項

なし

8 主務官庁の指示に関する事項

なし

9 会計に関する事項

公認会計士の関与の有無 なし

10 税法上の収益事業に関する事項

科 目	金 額	
物品販売業収入		
(1) 商品販売収入		
商品販売収入計		15,392,628 円
(2) 図書収入		
図書収入計		5,807,563 円
(3) 飲食品販売収入		
飲食品販売収入計		12,787,017 円
物品販売業収入計		33,987,208 円
物品貸付業収入		
(1) 貸衣装収入		
物品貸付業収入計		415,100 円
駐車場業収入		
(1) ポロト駐車場管理収入		
駐車場業収入計		9,672,700 円
事業収入合計		44,075,008 円

11 株式の保有に関する事項

なし

12 その他重要事項

なし